

広報



2010 第190号

平成22年11月1日 発行



社会福祉法人
巻老人福祉協会



目 次

特別養護老人ホーム 白寿荘東 『夕涼み会』『ぶどう狩り』	2
特別養護老人ホーム 白寿荘東 『敬老祭』	3
巻ディサービスセンター 『バスハイク』『題字の作成』	4
巻ディサービスセンター 『運動会』	5
白寿 荘西 『敬老会』『食欲の秋』	6
白寿 荘西 『やっぱりアイスでしょ』『音楽療法』	7
ケアハウス 白寿 荘西 『敬老祭』『多賀良まつりへ行ってきました』『日常の1コマ』	8

夕涼み会

職員のエアロビクス風景



今年の夏は、猛暑でとても暑い日が続きましたが、白寿荘東では暑さを吹き飛ばすため、八月五日に夕涼み会を行いました。夕涼み会では、最初に職員がハワイアン調のモーニング娘の曲に合わせて、エアロビダンスを披露しました。利用者の皆さんも手拍子をしたり、手を振ったりし、楽しまれていきました。次に、花火の打ち上げを行い、花火の光に目を輝かせながら見学されました。最後に冷たいアイスクリームを食べて、夏の暑さを忘れるほどに楽しい夜を過ごされました。

ぶどう狩り



秋になりました。秋といえば食欲の秋！ということで、恒例のぶどう狩りに行ってきました。あいにくの雨で肌寒い天気でしたが、そんな天気に負けず、皆様ともに楽しまれ、たくさんの笑顔を見ることができました。ぶどう狩りの場に着くと、車椅子から立ち上がり、自分でぶどうを探ろうとする意欲的な姿も見られました。採りたてのぶどうを、皆様すぐに一粒三粒と口に運ばれていました。中には、一房ペロリと召し上がった方もいらっしゃったようです。

ぶどう狩りの後、昼食に焼き肉を食べました。皆様、お肉も野菜もたくさん召し上がられ、ご飯をおかわりする方もいらっしゃいました。「その場で焼いて食べる、玉葱やキヤベツはすぐおいしい。肉もおいしくて、つい、たくさん食べてしまった」と、とても好評でした。昼食後、ジエラートや果汁百パーセントのブドウジュースを召し上がり、ワインを飲まれる方もいらっしゃいました。帰りの車の中では、またぶどうをつまみながら、帰って来ました。皆様、胃も心も大満足な一日だったようです。

敬 老 祭

越王太鼓様



ステキな演奏・舞 ありがとうございました

赤錦神楽様



最初の太鼓のドーンという音に皆様びっくりされておりましたが、迫力のある演奏が始まると一緒に手拍子をして聞いてあられました。次の赤錦神楽様でも素晴らしい舞を披露して頂きました。

式典の後、職員が手作りした屋台がならびました。今年はケーキやジュース、わたあめやくじ引き、職員お手製のバルーンアートの屋台が出ており、どれも皆様に好評でした。

夕食でのお祝いのお弁当も利用者様に喜んで頂いてありました。

今年も多くの職員、ボランティア様や余興に来てくださった方々のご協力もあり無事に終えることができました。



屋台で好評だったのがバルーンアートでした。職員が作つた物は犬や花など、どれも利用者様からきれいやかわいい、など言つて頂きました。車椅子につけてもらつたり部屋に飾つて頂いていました。

また、わたあめも皆様おいしそうに頬張っていました。

参加してもらつた利用者様からは「わたあめがあいしかった。」「お弁当がすごくきれいね。」など感想を頂きました。また米寿のお祝いのご利用者様からは「ありがとうございます。みんな同じ歳の人たちなのね。」とあっしゃられていました。別の方からは「お祝いされてとてもうれしい。」と喜んでおられました。



平成二十二年九月十八日、毎年恒例の敬老祭が開催されました。今年も天候に恵まれ野外での開催となりました。

式典ではお祝いの品が手渡され、続いて越王太鼓様による演奏が行われました。

最初の太鼓のドーンという音に皆様びっくりされておりましたが、迫力のある演奏が始まると一緒に手拍子をして聞いてあられました。

式典の後、職員が手作りした屋台がならびました。今年はケーキや

ジュース、わたあめやくじ引き、職員お手製のバルーンアートの屋台が出ており、どれも皆様に好評でした。

夕食でのお祝いのお弁当も利用者様に喜んで頂いていました。

今年も多くの職員、ボランティア様や余興に来てくださった方々のご協力もあり無事に終えることができました。



バスハイク

秋と言えば、食欲や芸術の秋が有名ですが、ディサービスにとっての秋は、ズバリ！ドライブの秋です。今回は、「いわむろや」でした。足湯に浸りながら、地球のエネルギーを肌で感じることのできる行事となりました。もちろん、帰りの車中は心も体もポカポカでした。



題字の作成！

巻ディサービスセンター史上初！となる題字の作成という大役がついにやって来ました。

利用者様と職員が日頃のレクリエーションで得た能力を存分に発揮し、秋の風物詩のドングリを使用した作品を完成させました。巻ディサービスセンターにとって、まさに芸術の秋となりました。



運動会

新潟市の秋と言えば、新潟シティマラソンが話題となっておりました。しかし、巻ディサービスセンターも負けてはおりません。今回は、日頃培われた、きずなをより強くするために、ご利用者と職員が一緒に参加する競技を多く取り入れました。運動会の期間中は、事務部門の職員の飛び入り参加もあり、各選手の普段は決して目にすることのできない、笑顔や悔しがる表情を垣間見ることができました。秋晴れの空の下、利用者様と職員にとって心地よい汗を流すことができました。



100歳のヒストリー ～私たちの知らないことを～



敬老の日、百歳のお祝いに施設長をはじめ県、市、国などから贈呈品や立派な賞状を頂きました。百歳あめでとうござります。

百歳の人生はどんなだったのでしょうか？私たちはここに入所されてからのNさんしかわからないですが、戦争時代を経験し数知らずの苦労をされてきたのだと思います。戦争時代なんて今では想像もできません。特に、今進化しているトイレ、昔はトイレットペーパーがなく新聞紙でお尻を拭いていたそうです。それも天皇陛下が掲載されているところは切り抜いていました。利用者

このに入所されてからも本当に元気で、百歳になつてからも自分で車椅子をこいで移動することがであります。書道教室や生花教室にも参加されています。英語もできるんです。A B C D E …と語つてみたり、職員のジャージについているa s i c sの文字を読んでみたりと元気なNさん。一丁目の掲示板には学生さんと一緒に作り上げた見事なちぎり絵が六枚も展示されています。手先が器用なNさん、これからも元気で長生きしてください。

～百歳あめでとうござります。～

Nさんは、七十歳の頃に通信でパッチワーカなどを始め、七十歳後半には手芸の講師を頼まれるほどの腕前になり何人かの生徒に教えていたそうです。本当に手が器用で人形も自分で作っていたのだと家族に伺いました。

Nさんは、七十歳の頃に通信でパッチワーカなどを始め、七十歳後半には手芸の講師を頼まれるほどの腕前になり何人かの生徒に教えていたそうです。本当に手が器用で人形も自分で作っていたのだと家族に伺いました。

【食欲の秋】～食事の力は素晴らしい しかし、利用者の笑顔はもっと素晴らしい～

た。 やらうね」と、喜んでいた利用者の方々。今日も利用者の笑顔が見れて職員も「にっこり」になりました。



食！！生寿司の力は素晴らしい。「生寿司を食べて良かつた！またやらうね」と、喜んでいた利用者の方々。今日も利用者の笑顔が見れて職員も「にっこり」になりました。

先日、一階フロアであ寿司の出前をしました。

お寿司の量はとてもたくさんの中でしたが、みなさん「おいしい」と喜んでパクパク食べていました。

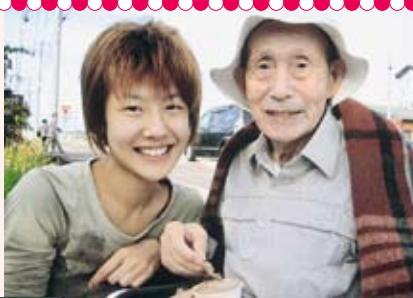
いつもは、あまり手が進まず食事中に眠ってしまう一様、食が細く食事をよく残してしまう様。なんと一今日は目をキラキラと輝かせて、「お腹いっぱいだわ！」と言いながらすべて完食！！生寿司の力は素晴らしい。



やつぱりアイスをしょ



今年の夏は猛暑日が続きました。外にいても室内にいても暑い!!と汗をかいていた日々も通りすぎ、少し肌寒い季節がやつてきました。白寿荘西ショートステイでは、毎月一回ご利用者の方々に、楽しんで頂くためにドライブを企画しています。今回は、海岸ドライブと岩室のレガーロへ行つてきました。海岸ドライブでは、車内からはつきり見える佐渡島を見て佐渡あけさを歌いました。ご利用者の方もいました。山を下ると稻刈りが始まっています。「昔は、あそこまでよく歩いたもんだ」と会話が弾んであらためました。夏から秋に変わつていく風景を肌で感じて頂けたようです。次に、岩室にお住まいなら誰でも知つて「おいしさ」と評判なレガーロへ行つてジェラートを食べてきました。色々なジエラートの中から好きな味を選んでみんなで食べてきました。



アイス何味が食べたいですか?と聞くと、「チョコレートだね」と話すEさん!! おいしくて笑顔になっています。職員の田中さんは休日でしたがこの日のために参加してくれました!!

「お~い、ひつじ」と声をかけると「めえ~」と返事をしてくれました。ご利用者の方々も、動物と触れ合うことで笑顔も多く楽しんで頂けました。



《個別》



《集団》

昨年から亀倉葉子先生に来てもらい音楽療法を取り入れるようになりました。音楽療法とは、「音楽が持つ生理的・心理的・社会的働きを、心身の障害の回復、機能の維持改善、生活の向上に向けて、意図的、計画的に活用して行われ治療的、教育的技法である」と定義されています。

今回は、白寿荘西六・七丁目をご紹介します。季節も秋ということで秋にちなんだ歌を歌いました。

ご利用の方々は、手拍子をしながら大きな声で歌い、子供の頃を思い出しながら楽しんでもらえました。集団で歌い、また個別がいいと言う方には、一对一で参加してもらっています。歌を通して、ご利用の方々の笑顔が引き出せたり、会話が弾む姿を見て音楽は、世代関係なくとても影響力が強いようです。「先生、次いつ来る?」「今度は〇〇を歌いたい」と次の音楽療法の日が楽しみでいるご利用の方々はたくさんいらっしゃいます!!



敬老祭

九月十八日敬老祭では、ケアハウスより一名の方が米寿を迎えるされました。



おめでとうございます!!



今年の贈呈品は手作りと
のことでの悩みに悩んで、ワッショングルーバーや色紙を作り、
プレゼントさせて頂きました。
余興の万代太鼓の音にじっくり
クリされていましたが、最後には「良かったねー」と笑顔
が見られ、楽しまれています。

昼食後でしたが、皆さんペ
ロリとデザートやあでんを食べ
られ、大満足。ゲームにも
集中し、たくさんの景品を頂
いてました。

四階事務所の隣にある畳ス
ペースを模様替えしました。
枕とソファーを置き、ゲー
ムや本などもあります。



利用者様同士、お茶を飲み
ながら過ごすのも良し。ご家
族の皆様と一緒に過ごしたり、
ゲームをしたりと皆さんでつ
いワイするのも良し。

どうぞ、気楽に利用してく
ださい。

多加良まつりへ行つてきました

十月三日天気に恵まれ、気持ちの良い秋晴れの中、多加良まつりへ行つてきました。

出店に美味しい物が多く、あれもこれもたくさん

買い物をしたり、法人の出

店にて久しぶりに会う職

員と楽しそうに話して、バ

ルーンアートを作つても

らつたりと、個人個人楽し

まれたようですね。

久しぶりに外出をした

こともあり、施設に戻ると

皆に「楽しかったよー」と

満面の笑顔で言つてまし
た。



「毎日の仕事だからねー。」
と言い、十一丁目の利用者
から持ってきて」など、毎
日いざれかの声が聞こえて
きます。「毎日の仕事だからねー。」
と言いつつ、「私はする
から持ってきて」など、毎
日いざれかの声が聞こえて
きます。

終わると「終わったよー。
数、間違つてると悪いから
見て。」と声を掛けてくれ
ます。

毎日お手伝いしてくださ
る利用者様に感謝していま
す。



日常の「ママ」



日常の「ママ」